

事業所職員向け

児童発達支援自己評価表

令和5年3月

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	11	7	0	<ul style="list-style-type: none"> ・広いスペース(遊戯室)もあり、全体的に定員に対して十分であるが、各部屋で走り出してしまうと狭くて危険。 ・出席している児童によってクラスの振り分けを臨機応変にしている。
	2	職員の配置数は適切であるか	12	4	0	<ul style="list-style-type: none"> ・利用の子供の人数やその日の状況に応じて変更してくださるので適切である。職員が増え、柔軟に配置している。 ・活動中以外の時、2便乗り入れ前に職員が不足しがちなので声を掛け合うようにしている。 ・他害がある児童等、担当時間を決めたりと工夫している。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	11	5	0	<ul style="list-style-type: none"> ・している。 ・騒音に気に配り、リトミックの時間や場所を考えている。 ・設備の変更があるときは実施後も振り返りを実施した。 ・無駄な物は置かず、ホワイトボードなどで見える化している。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	10	4	1	お漏らしなどの汚れには迅速に対応している。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	9	5	0	職員会議が行われ、意識が高まっている。全体で情報共有や振り返りを行っている。ファイルにまとめて見える化や重要なことは全体で回覧している。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	11	3	0	<ul style="list-style-type: none"> ・評価に対して、全職員への周知と対応をしている。 ・保護者の評価を見る機会がなく、個々人としての業務改善につなげられていない。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	6	7	0	HPが分かりにくい。給食についての日誌があるが日々の活動についての掲載が少ない。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	4	8	2	第三者による部外評価は実施していないが、地域の相談支援事業所の訪問などを積極的に受け入れており、気づいた点などを伺っている。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	9	5	0	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的な研修は行っている。 ・研修の機会をもっと増やしてほしい。 ・地域の事業所連絡会で研修プランがあり事業所としても積極的に参加している。 ・県などからの研修案内(オンライン)については職員に周知している。
	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	9	4	0	<ul style="list-style-type: none"> ・計画時に必ずアセスメントを行い、プランを作成している。 ・ケース会議をする時間があまりとれていない。職員同士、情報を統一してしっかり周知すべき。
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	12	4	0	標準化されたアセスメントツールを使用している。

適切な支援の提供

12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」、「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	11	3	0	<ul style="list-style-type: none"> ・ガイドラインに基づいた分類にしたがい、必要項目を掲げて計画をしている。 ・具体的な支援内容を設定し、書類にまとめ見える化や振り返りをしやすくしている。
13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	11	4	0	<ul style="list-style-type: none"> ・クラス担当ごとに計画をみながら振り返りを実施している。
14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	10	3	1	リーダーやサブの設定を行い、前日の活動を踏まえ立案している。
15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	11	2	1	日々のスケジュールを表にし、新しいプログラムの計画を立てている。
16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせることで児童発達支援計画を作成しているか	11	3	1	個々人の記録をとり、支援計画を都度話し合い作成している。
17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	5	10	0	<ul style="list-style-type: none"> ・内容や役割分担を詳しく伝えていないと私自身がやっていた。今後は伝えていきたい。 ・朝礼で報告事項が伝達されている。
18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	5	8	2	ハグ(共有アプリ)を使用している。
19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	13	1	1	ハグ内に日誌の記載があり日々の支援を記載している。
20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	12	1	1	話し合いや資料をまとめている。

関係機関や保護者との連携

21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	7	7	0	資格保有者が担当の役割が決まっている。
22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	7	6	0	各機関との情報共有を行っている。
23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	6	8	0	該当者が現時点ではないので実施できていない。
24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	2	6	0	同上
25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	11	3	0	併用先の保育所からの問い合わせや保護者からの依頼で保育所への訪問や電話での相談、計画の共有などを行っている。
26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	9	4	0	就学先の学校からの依頼により保護者の同意を経て支援状況を伝えている。
27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	7	7	0	市内、隣市の行政が実施している児童発達支援センターと連携や助言を受けている。
28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	0	6	0	現在は行っていない。
29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	2	9	1	現在は行っていない。
30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	12	1	0	受け入りや帰りの日々のコミュニケーションを行う。気になる行動や課題があれば都度面談している。
31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	3	8	2	ペアレントトレーニングは実施していないが、アプリのチャット機能を活用しいつでも保護者からの相談などを受けられるようにしてる。活発なやり取りがある。
32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	9	4	0	契約時に説明を行っている。
33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	14	0	0	同意書に署名をいただいている。
34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	11	2	1	年に1回以上は事業所にて面談を実施している。また依頼があれば随時、相談支援を行っている。

保護者への説明責任等	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	0	7	7	感染症対策として会合が行われていない。保護者同士の関わりがない。今後サロンやセミナーなどができるとうい。 ・とにかくママ同士をお友達にしてあげたい。いろいろアドバイスをするのではなく、単なるグループディスカッションが良い。わが子の自己紹介ノートづくりなど。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	8	2	1	相談を受けた職員が担当者に伝え迅速に対応している。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	18	0	0	毎月、らいおんだよりを発行している。毎月、活動プログラム予定表を配布している。
	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	18	0	0	不要な書類はシュレッダーを使用。写真に名前が映らないように配慮している。
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	18	0	0	保護者の状況をみながら対応するスタッフを配置している。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	0	7	7	行事は行っていないが、相談先としての間口は広いと思う。まだまだ地域に存在が知られていない。コロナ禍でかつづが限られているが挨拶や交流ができるとうい。

非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	9	7	0	マニュアルは作成しているが、緊急時や防犯については周知が徹底されていない。発生を想定した防犯のための訓練は実施されていないが、今年度強化したい項目である。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	11	2	1	毎月、避難訓練を実施している。 ・訓練は行っているが外に避難するなどいろいろな状況を想定していかれたらと思う。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	10	4	1	全体への周知、必要なら名簿に記載
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	13	0	0	給食提供をするのでアレルギー有無のアンケートをとり、ある場合には医師の指示書を依頼している。現在は該当者なし。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	13	0	0	ファイルにまとめている。見える化や口頭での打ち合わせをする。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	10	5	0	虐待防止委員会を設置し、年に2回以上の研修を行っている。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	8	6	0	・身体拘束委員会を設置し勉強会を通じてどのような場面には必要か検討し、必要がある児童については個別支援計画で保護者の同意を得ることにしていく。 ・身体拘束をする必要な場面を目にしたことがないのでどちらともいえない。